

青梅地区の支えあい活動を考える会

第2層協議体

新型コロナウイルス感染症拡大防止から、「青梅地区の支えあい活動を考える会」をしばらくの間休止しておりましたが、夏過ぎより会を再開しました。

協議体メンバー同士で、休止期間中の出来事や感じたこと等を共有するとともに、以前から進めていた自治会アンケート結果のフィードバックをどのように行うか検討を重ねてきました。

令和2年11月20日(金) 19:30～

第1支会(青梅地区)自治会長会議において、「地域での支えあい活動の推進について」ならびに「自治会アンケート結果報告」をいたしました。

★地域での支えあい活動の推進★



青梅地区の高齢化率は35.4%(R2.1.1時点)。細かく見ると40%を超える地域もいくつかある現状です。青梅大祭など地元力が集結できる地域です！



★アンケート報告★

地域の活動～こんな活動がありました～(抜粋してのご紹介です)

《楽集の環事業部 サロン》

毎週1回金曜日に自治会館で開催。主に高齢者が対象。毎回20名ほどの参加者が集まる。

ご近所、お隣さんのコミュニケーションを図ることを目的として、お茶飲みやおしゃべりを楽しむ会

《ヨガ教室》

毎月2回、土曜日に自治会館で実施。外部講師の指導のもとにヨガによる健康づくりを目指している。

町内のほかに町外の方の参加も歓迎している

《生き生き健康クラブ》

地域内にあるデイサービスセンターを開放してもらい、トレーニングマシーンを借用して自主トレーニングを実施。必要経費は会費を集めて充当している

高齢者クラブの現状

高齢者の人口に占める割合が増加している現状で、高齢者クラブの会員数は減少傾向にあるのが現実

高齢者や高齢者クラブと自治会との今後の関り(こんなことが地域で取り組めたらいいな～)

- ・高齢者がより参加しやすい要素を取り入れ、場合によっては高齢者クラブとの連携や共催を推進していただくことができれば、「参加できない」「参加していない」高齢者も巻き込めるのではないかと
- ・自治会に未加入の方や健康、その他の理由で行動が制限されている高齢者にも、参加の窓口を広げるような取り組みを生み出していかないと
- ・自治会役員を退任された方の高齢者クラブへの加入を積極的に推進するような仕組みづくり

